



相生ペーロン祭 前夜祭花火大会 (ペーロン祭協賛会提供)



会 長 江見重人
幹 事 平田雅義
会報委員長 井出進

2023~2024年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

例会日/毎週水曜日 12:30~13:30

例会場/相生商工会議所 Tel(0791)22-1234

事務局/相生市旭3-1-23 相生商工会議所内

Tel(0791)23-0144 Fax(0791)22-2290

例 会 記 録

2023(R5)年 10月 11日

会報委員 松田 宇司

プログラム10月18日(水)

「コズミック フロント
見えてきた! 秘境地球の中」

(松田会員)

次週プログラム10月25日(水)

「一歩先のエネルギー」

(松浦会員)

◆点 鐘 (江見会長)

◆ソング “R-O-T-A-R-Y”

◆出席報告 (大川例会運営委員長)

会員数	出席数	事前 メイクアップ	出席免除
27	25	0	2
本日出席率	事後 メイクアップ	9/28 欠席数	9/28 出席率
100%	0	0	100%

◆会長の時間 (江見会長)

皆さん こんにちは。

朝晩すっかり秋らしく気候もよくなり、休日はスポーツ、レジャーなど最適な季節になりました。いかがお過ごしでしょうか? 私はこの三連休はゴルフ三昧、競馬三昧、買物三昧で日頃のうっ憤晴らして大変な散財をしてしまいました。

さて、本日はまた我が社の法華経カレンダーの日蓮聖人遺文より「深く世法を識れば 即ち 是れ 仏法なり」仏法の究極は“幸せとは何か”ということに答えを出してくれることでしょうか。仏法は「あなたはすでに答えの上に立っている」「答えは足元にある」と。世法とは俗世の道理。私たちはそれを指針として日々の生き方に答えを出しています。故に、それは往々にして変化し迷いを生む元となります。一方、不変的な道理を示すのが仏法

です。「どんな状況にあらうと、今のあなたはすべてを受け入れなさい。するとあなたが求める答えの上にすでに立っていることに気付くでしょう。それが世法と仏法が合致するところです」と私にはあまり理解できないようなことを言われる。まずは現状を受け入れなさいということか、それを理解すれば次が開けてくるということか。

ここで分かりやすい例がチルチルミチルの話があります。幸せの青い鳥の話です。貧困な家庭に生まれた兄妹が、魔法使いのおばあさんに頼まれて幸せの青い鳥を探す話ですが、いろいろな世界へ行き、見つけようとするが結局ダメだった。最後に家へ帰ってみると、鳥かごの鳩が青い鳥になっていた。結局は今ある自分が幸せであることに気づいてなかったという話です。私に置き換えると、今ある自分は十分に幸せであると感じています。

◆幹事報告 (平田幹事)

○回覧…姫路、生野 RC, 篠山 RC, 神戸垂水 RC 週報

○龍野 RC「奉仕プロジェクト特別会計支援金」事業
「しろう自立の家」移転一周年記念サロンコンサート○伊丹 RC「第65回サンクスギビングディナー
パーティ」開催案内

◆委員会報告

○国際奉仕委員会（田口務委員長）

使用済み切手収集に神谷会員よりご協力いただきました。有難うございます。

○米山記念委員会（大西賢委員長）

米山記念奨学会へ神谷会員より、ご寄付をいただきました。

○ゴルフ同好会（阿賀ゴルフ幹事）

第1回西播第2グループ親睦ゴルフ大会案内
11/12 9:08 スタート ストークヒルGC

◆SAA（半田SAA）

ニコニコ箱

江見会員…本日はIM実行委員会です。宜しくお願いします。

平田会員…岡田IM委員長よろしくお祈りします。

岡田会員…本日はIM委員会、よろしくお祈りいたします。

神谷会員…朝、晩めっきり肌寒くなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

鳴瀬会員…一昨日の「スポーツの日」に勇んで京都競馬場に行ってきました。結果は残念でしたが、生の馬を目の当たりにして嬉しかったです。今週は秋華賞です。珍名の「シランケド」が走ります。結果はしらんけど…。

半田会員…本年度IM趣旨説明の卓話 岡田委員長よろしくお祈りいたします。

◆プログラム（大川例会運営委員長）

「2023-24年度IM概要について」

担当 岡田IM実行委員長

日時 2023年12月16日（土）

14:00 第1部 開会式

14:30 第2部

講演「私たちの巨樹と気候風土」

阪上栄樹 PG 70分

15:50 各クラブ発表 各クラブ8分

17:00 第3部 懇親会

場所 ラヴィーナ相生（相生市山手）

○半田ガバナー補佐 趣旨説明、協力をお願い

■テーマ

「私たちの巨樹と気候風土」（仮）

※環境や生態多様性の重要性について



地球上で最も大きく寿命の長い生物である巨樹について、私たちの身近にある木々を調べます。巨樹はその地域社会で認められ独自の名前を持つことも多く、畏怖の念から時に信仰の対象となり、伝承を有することもあります。

明治維新後の神社合祀により多くの鎮守の杜が失われましたが、中には人々の尽力で生き延びた木々もありました。私たちの身近な巨樹について理解を深め、気候風土、環境問題、生態多様性にまで話題を展開していきたい。

■第2部

講演 「私たちの巨樹と気候風土」（仮）という演題で巨樹・古樹となる条件と環境や気候風土との関連について坂上栄樹PGに70分の講演を頂く。

各クラブ発表 「地域内の巨樹・巨樹林・古樹について」（仮）という演題で各クラブエリア内の巨樹・古樹について、樹木の概要、歴史や伝承・エピソードなどを調査し、約8分の発表を予定。

8分×4 → 計40分（含：交代時間）

■第3部 懇親会

演奏 JAZZY NIGHT & 松阪えりこ

ジャズを聴きながら、西播第2G間の親睦を深めて頂く。

○岡田IM実行委員長 概要説明、協力をお願い

配布の実施要領に沿って、実行委員会組織表や役割分担、プログラム(案)、準備物一覧等について説明を行いました。

その後、各委員会毎に話し合いが行われました。

○江見会長 協力をお願い

◆点 鐘（江見会長）